

【 76 】

氏名	藤 原 勝
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 5 7 2 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和48年 9 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学 位 論 文 題 目	血清アルブミンに関する研究
論 文 審 査 委 員	教授 小 坂 淳 夫 教授 大 藤 真 教授 水 原 舜 爾

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第1編でまず低アルブミン血症に関して統計的観察を行い、又 RISA を用いて albumin Kinetics を諸種疾患について検討を加えたところ、albumin 量0.5/dl以下の低アルブミン血症の頻度は0.003%で、悪性腫瘍では hyperanabolism の albumin kinetics を示した。

第2編では、世界第3例目、本邦では第1例目の無アルブミン血症を発見したので、その臨床像と検査成績の異常について詳細に報告した。

第3編では血清蛋白像について、Separax 電気泳動法、一元平板免疫拡散法及び超遠心分析法での検討を加え、albumin が本症患者で見出されないことを確認した。又 ^{125}I -RISA の血中半減期は38日であった。

第1編 日本血液学会雑誌, 34巻1号, 1971年

第2編 日本血液学会雑誌, 34巻5号, 1971年

第3編 日本血液学会雑誌, 34巻5号, 1971年

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

著者は、血清アルブミンに関する臨床的研究として低アルブミン血症に関して統計的観察を行ない、ついで世界第3例目の無アルブミン血症例を発見して、詳細な臨床化学的検索と血清アルブミン代謝に関する検討を行っており、新知見に富み、学術上有益であると考える。

よって、医学博士の学位を授与するに値するものと断定した。